

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2001-509718(P2001-509718A)
【公表日】平成 13 年 7 月 24 日 (2001.7.24)
【出願番号】特願平 10-534724
【国際特許分類第 7 版】
A 6 3 B 53/04
【F I】
A 6 3 B 53/04 B
A 6 3 B 53/04 E

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年1月20日

特許庁長官 小川 洋 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第534724号



2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国カリフォルニア州92008-8815,
カールスバッド, ラザーフォード・ロード 2285
氏名 キャラウェイ・ゴルフ・カンパニ

3. 代理人

住所 〒150-6032
東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー32階
氏名 (7015) 弁理士 伊東 忠彦
電話 03(5424)2511 番 (代表)



4. 補正対象書類名

特許請求の範囲

5. 補正対象項目名

特許請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。

特許請求の範囲

1. ゴルフクラブヘッドの重心の位置を選定する過程と、
ゴルフクラブヘッドの主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定し、ゴルフクラブヘッドの重心が前記選定された位置に位置し、ゴルフクラブヘッドの主慣性モーメントが前記選定された大きさと方向を持つようにゴルフクラブヘッド内の質量を分布させる過程とからなるゴルフクラブヘッドの設計方法。
2. 主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定する前記過程は、
少なくとも一つの慣性主軸をゴルフクラブヘッドがゴルフボールに衝突したときゴルフクラブヘッドに作用する力の方向と一致させる過程を含む第1項の方法。
3. 主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定する前記過程は、
少なくとも一つの慣性主軸をスイングの間のゴルフクラブヘッドに作用する慣性力の方向と一致させる過程を含む第1項の方法。
4. 主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定する前記過程は、
少なくとも一つの慣性主軸を前記ゴルフクラブヘッドを有するゴルフクラブのスイングの間に前記ゴルフクラブヘッドに作用する遠心力の方向と一致させる過程を含む請求項1の方法。
5. 主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定する前記過程は、
ゴルフクラブヘッドの慣性ロフト角が幾何学的ロフト角より小さくなるように最大慣性モーメントに関する主軸の方向を向ける過程を含む第1項の方法。
6. 主慣性モーメントの組みについて大きさと方向を選定する前記過程は、
第1の主軸を、水平面内で前記ゴルフクラブヘッドのフェースに垂直な方向に向け、
第2の主軸を、垂直平面内で垂直方向から前記ゴルフクラブヘッドのシャフトのライ軸に向けて変化させた方向に向け、

第3の主軸を前記第1及び第2の主軸に対して直交する方向に向ける過程を含む第1項の方法。

7. 前記第1の主軸は最大慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は最小慣性モーメントに関連し、前記第3の主軸は中間慣性モーメントに関連する第6項の方法。

8. 前記第1の主軸は最小慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は最大慣性モーメントに関連し、前記第3の主軸は中間慣性モーメントに関連する第6項の方法。

9. 前記第1の主軸は中間慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は最小慣性モーメントに関連し、前記第3の主軸は最大慣性モーメントに関連する第6項の方法。

10. 前記第1の主軸は最大慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は中間慣性モーメントに関連し、第3の主軸は最小慣性モーメントに関連する第6項の方法。

11. 前記第1の主軸は中間慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は最大慣性モーメントに関連し、前記第3の主軸は最小慣性モーメントに関連する第6項の方法。

12. 前記第1の主軸は最小慣性モーメントに関連し、前記第2の主軸は中間慣性モーメントに関連し、前記第3の主軸は最大慣性モーメントに関連する第6項の方法。

13. ゴルフクラブヘッド内の質量を分布させる前記過程は、
ゴルフクラブヘッドの第1の部分を確認するための第1の密度を持つ第1の材料を使用し、

ゴルフクラブヘッドの少なくとも一つの追加された部分を確認するための第1の密度より大きい密度を持つ第2の材料を使用する第1項の方法。

14. ゴルフクラブヘッドのボディ区域の背面側の上部領域の質量集中を減少する過程と、

前記ゴルフクラブヘッドのボディ区域の後方底部領域のゴルフクラブヘッド内の質量を増加する過程と、

前記ゴルフクラブヘッドのホーゼルの背面上部領域の質量分布を減少する過程と、

前記ゴルフクラブヘッドのホーゼルの前側上部領域の質量分布を増加する過程とを有し、

それにより、ゴルフクラブヘッドの水平面内に位置する主軸が前記ゴルフクラブヘッドのフェースに対し鋭角な主面角を形成するように前記ゴルフクラブヘッドの主軸の向きが定められるアイアン又はウェッジタイプのゴルフクラブヘッドの動的特性を改善する方法。

15. ゴルフクラブヘッドのホーゼル領域内の質量分布を減少する過程と、

ゴルフクラブヘッドのトオ／ソールの交差領域内とヒール／ソール領域内の質量分布を増加させる過程とを有し、

それにより、最大慣性モーメントに関連する主軸の向きがスイングの間にゴルフクラブヘッドに作用する遠心力の方向と一致するようにしたメタルウッドタイプのゴルフクラブヘッドの動的特性を改善する方法。